

家族でニコニコチャレンジ② 取り組みの様子



平成27年11月～12月実施

基本的な生活習慣の確立と自立心の育成をめざして！

「家族でニコニコチャレンジ」第2回目の取り組みに関して、ご報告いただきました。

今回は、就学を意識して取り組んだ家庭が多くありました。基本的な生活習慣というより、お手伝い、片付け、登園の準備など家族の中での位置づけとしての取り組みが多くみられました。

お手伝い、片付け等のさせ方も課題にあるようです。見てまねてやることで認められ、その必要性を子どもも感じます。1年生入学を目前とし、頑張るお子さんの姿が浮かんでくる報告でした。

<取り組み状況>

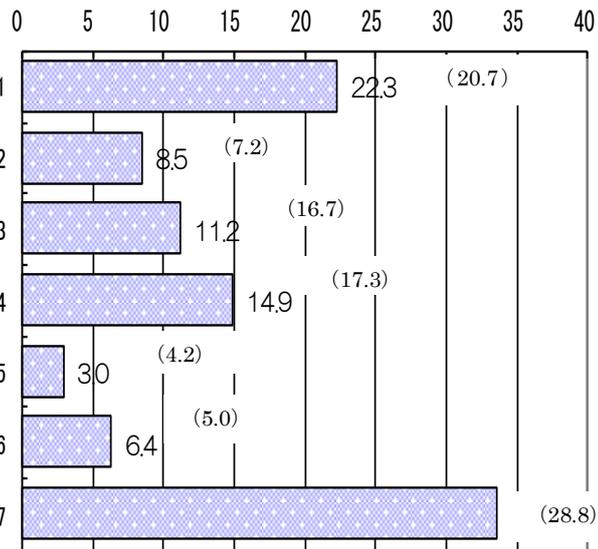
集計協力園 47園 / 47園

回収率…92.4% (報告園の提出者数 / 報告園での配布者数)

() 内は、前回の結果

取り組み項目の選択状況

- 1 早寝・早起きしよう
- 2 朝ごはんをしっかりと食べよう
- 3 あいさつをしよう
- 4 歯みがきをしよう
- 5 お話タイムに楽しもう
- 6 テレビ視聴・ゲーム利用のルールを守ろう
- 7 その他
(お手伝い、衣服の着脱、片づけ、残さず食べる、登園準備、など)



保護者からの感想等

《子どもの様子や家族のかかわり方に関わる感想》

① 今までにはゲームをやりたいくて泣いたりしていましたが、ゲームから絵や本などに興味を持たせ、ゲームをすることが減ったり全くやらなくなったりして、よかったです。

③ 小学校のバス時間が7時20分なのでそれまでに準備しないと遅刻します。4月までに徐々にできるようにしていきたいと思いました。

⑤ 私たち大人もあいさつの見本になるように気を付けました。子どもの元気な声に家族みんなが1日のパワーをもらいました。

② 前回と同じ目標にしましたが、今回は前回と違い、自らテレビのスイッチを切るなど、とても頑張っていたと思います。ニコニコチャレンジのカードをテレビのすぐ近くに貼っていたことも本人の意識やモチベーションの保持につながっていたのかもしれませんが、これからは見ないときにはテレビを消すなど家族みんなでテレビとの付き合い方を意識していこうと思います。

④ 難しいかなと思いましたが、2回目から守れるようになり、びっくりしました。テレビを見ないと本を見たりぬり絵をしたり、遊びを見つけるようになりました。何より会話が増えました。これで終わらず、よいことなので続けていきます。

⑥ チャレンジに慣れてしまったためか、今回は頑張ろうという姿があまり見られなかった。

⑧ 残念マークが5個もついてしまったことをとても悔しがっていた。寝る時間は親の責任だなあと反省している。

⑩ 朝は決まった時間に起きるのですが、夜は仕事の都合などでどうしても遅くなりがちだったので、親子でチャレンジしました。テレビに夢中になって時間が過ぎてしまうことが多かったので、引き続きやっていきたいと思います。

⑦ 虫歯が多く、大人の歯に生え変わる今、歯磨きの習慣づけを徹底しようと思った。お父さんにも仕上げ磨きを協力してもらって行った。

⑨ 自分(母)が忙しことで、ゆっくり話を聞いてあげることができていなかったが、時間を設けることで楽しそうに話してくれました。

⑪ しっかりと目標を把握して自分で取り組んでおりました。「目標」があることで「達成」を目指してこんなに自主的に取り組めるのだなと感じました。

園からの感想等

≪親子で取り組むことの効果に関わる感想≫

①保育参観で、テレビやゲームの長時間の視聴について(子育て講演会の内容)話をする機会を設けた後の取組だったので、意識して取り組んだ家庭もあったように思う。

②カードを提出することが、負担ではなく、親子で共同して頑張ることになってきている。時期もちょうど良いと思う。他園の効果的な取組を参考にし、自園でも1回目より2回目が充実した。よいことは取り入れながら今後も継続していくことが大切だと思う。

③年に2回上期下期と行うのは良いと思います。前回うまく取り組むことができなかった子はまた同じ目標を立て、リベンジすることができていました。

④ おうちの人の意識が子どもの頑張りにつながっているようである。

⑤ 年2回でなく、毎月のように取り組むということをしないと保護者は変わらないのだと思った。

⑥ 12月中旬に取り組んだ子の成果を発表する機会を設けるなど働きかけましたが、反応に乏しい家庭もありました。

⑦ 目標を決めた理由を裏に記入してもらったことで、保護者の思いを感じることができ、同時に保護者への意識へとつながったと思う。

⑧ 11月の目標を「目標を決め、ニコニコチャレンジに取り組もう」と設定し、2週間だけでなく1か月取り組んでもらった。親も意識をし、取り組むことができたようだが、きちんと取り組んだ家とそうでない家との差が見られた。

今回の取り組み結果と次回の取り組みに向けて

☆ 今回の取り組み結果 …各園の報告から… ☆

- ・目標設定の段階で、懇談会等での働きかけ、目標設定の理由の記入等を行うことで、取組への意識付けや達成感の共有がなされた園があった。
- ・習慣化するには短い期間であるが、習慣化へのきっかけとして捉え、実態に合わせ、長期休みの取り組みやカレンダーへの記入など園や家庭で工夫している園があった。
- ・取組についての家庭の温度差が見られた。
- ・園では、懇談会、保育参観、個別面談等の機会に取り組みや目標設定について話題にしたり、園便り、クラス便り等で取り組み状況を掲載したりし、家庭へ働きかけている。
- ・取組結果について、園便りやクラス便り、掲示などで伝えることで、子どもや家庭の頑張り認め励ましていた。
- ・年中児、年少児における取組もあり、回収率は年中児 86.9%、年少児 78.2%であった。

☆ 次回の取組に向けて ☆

- ・ 基本的な生活習慣の必要性の確認、保護者の感想など、ニコニコガイドや広報「はなまき」、合同園長会議などでニコニコチャレンジの取り組み結果を周知する。
- ・ 目標設定の理由を記入する欄を設け、意識付けを促す。